

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	68		事務事業名 (中事業名)	リサイクルプラザ運営事業 ()					
予算科目	04	02	06	大事業	04	中事業	00	担当課名	環境業務課
総合計画施策コード	552			事務開始年度	平成 12 年度			備考	
根拠法令等	廃棄物処理施設整備緊急措置法						作成月	令和元年 7 月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	ごみの減量化及び資源の有効利用並びに再利用の促進を図るため。
事業の対象 (誰(何)のために)	ごみを排出する市民、資源の有効利用について活動する団体等
事業の概要 (具体的に何を)	クリーンセンターに搬入されたごみの中から取り出した再生可能な物(家具、自転車、小物など)を修理し、展示期間を経て、入札により販売する。また、リサイクル作品講習会やリサイクル作品の募集・展示などを行い、ごみの減量啓発活動を図る。

●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	7,191,732円	7,066,087円	7,254,000円	
事業にかかる人工	0.05人	0.05人	0.05人	
事業にかかる人件費②	355,231円	358,370円	361,711円	
総事業費③(①+②)	7,546,963円	7,424,457円	7,615,711円	
総事業費内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	3,804,823円	3,536,197円	4,615,711円
	その他 売上金	3,742,140円	3,888,260円	3,000,000円
H30 総事業費③の対前年度差額	-122,506円	H30 総事業費③の対前年度比率	-1.62%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要	金額	
	家具等再生業務委託料	家具等の修理、清掃	1,792,036円	
	自転車再生業務委託料	自転車の修理、点検、整備、登録	1,107,600円	
	リサイクル推進業務委託料	環境イベントの開催	300,000円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	来場者数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	16,500	人	16,000	人	14,000	人
	実績値	16,326	人	14,124	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	展示販売点数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	1,900	点	1,800	点	1,700	点
	実績値④	1,845	点	1,720	点	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		4,090円		4,317円		*****	

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	家具自転車等再生業務
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	ごみの減量化及び資源の有効利用並びに再利用の促進を図ることは継続する必要がある、その機会となるリサイクルプラザ運営事業は長期的に展開することが重要である。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か	◎		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか	○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか	○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○

評価の総合的なコメント	展示品の種類、数量とも適正である。 ・作品講習会は、予約が数日で予定数に達し受付終了となる。			
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める		
	(理由)	プラザの啓発活動は、現行どおり進めていく。コストのかかる自転車再生業務は段階的に縮小する。		
民間委託又は市民協働拡大の方向性	リサイクルプラザの運営を民間委託に変更しても経費を節減できるとは考えにくい。また、業務の安定的かつ継続的運営を考慮すると、委託は困難と考える。			
事業全体の課題	ごみを出さない社会、資源となるものは再利用する循環型社会を目指した施策の一つで、一定の効果は出ていると考えているが、地域により異なるごみの分別ルールの一貫や周知・啓発、増える外国人に対応する多言語化表示などの課題があると考えられる。			

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	近隣自治体の多くが、同様の事業を行っている。
---------------	------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	整備コストが大きい自転車の展示台数を減らしたことで生じた空きスペースを有効活用する。また、年度初めの広報紙に「開館カレンダー」を折り込むことでリサイクルプラザの周知を図る。
-----------------	----------------------------------------------------------------------------------------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	空きスペースを含む展示ブースのレイアウトを見直すことで、効率的・効果的な展示ブースを確保する。また、利用者との会話を増やすなどで積極的にご意見をお聴きし、これらを参考に広報紙やホームページの掲載方法や内容を工夫することで更なる周知を図る。
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	一定の効果が出ているとのことですが、総合計画の目標値(リサイクル率の向上等)の達成にどれだけ効果があるかがわかるような指標にしてください。
----------	-----------------------------------------------------------------------